



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 不二製油グループ本社株式会社

コード番号 2607 URL <http://www.fujioilholdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 清水 洋史

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 関 伊知郎

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 06-6459-0701

平成28年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	141,361	5.4	9,196	42.9	9,063	52.9	6,153	69.9
28年3月期第2四半期	134,098	4.7	6,436	0.2	5,926	△7.5	3,622	△22.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △165百万円 (△106.6%) 28年3月期第2四半期 2,489百万円 (△48.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	71.59	—
28年3月期第2四半期	42.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	257,468	143,264	54.0	1,618.74
28年3月期	266,877	148,787	53.3	1,655.70

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 139,144百万円 28年3月期 142,322百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
29年3月期	—	22.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	292,000	1.6	19,600	16.4	18,200	28.9	12,000	30.1	139.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) FUJI OLEOS AMERICA DO SUL IMPORTACAO, SERVICOS E COMERCIO DE PRODUTOS ALIMENTICIOS E PARTICIPACOES LTDA., NEW LEYTE EDIBLE OIL MANUFACTURING CORPORATION

、除外 2社 (社名)

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結会計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	87,569,383 株	28年3月期	87,569,383 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,610,491 株	28年3月期	1,610,095 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	85,959,133 株	28年3月期2Q	85,959,702 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得情勢は堅調に推移し個人消費は底打ちしつつ、景気は踊り場となっております。海外経済は、米国経済は緩やかに拡大しているものの、ユーロ圏は英国の欧州連合（EU）離脱決定の影響による欧州景気の下振れリスクの増大や、中国や新興国を中心とした経済成長の鈍化など世界的な景気は依然力強さを欠く状態であり、先行き不透明な状況が続いております。

この様な状況の中、当社グループはローリング中期経営計画「ルネサンス不二2018」（2016年4月～2019年3月）での基本方針である「サステナブル経営」「グローバル経営」「技術経営」に則り、成長戦略、収益構造改革、サプライチェーンの構築により事業体質の強化を図り、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は1,413億61百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は91億96百万円（前年同期比42.9%増）、経常利益は90億63百万円（前年同期比52.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は61億53百万円（前年同期比69.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (油脂部門)

国内では、フライ油・製菓用油脂などのパーム油・チョコレート用油脂の販売数量が増加したこと等により増収・増益となりました。

海外では、主に米州でパーム油の販売が伸長したことにより増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は526億6百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益（営業利益）は34億85百万円（前年同期比53.6%増）となりました。

## (製菓・製パン素材部門)

国内では、業務用チョコレート・冷菓用チョコレートの販売が伸長したことにより増収・増益となりました。

海外では、東南アジアでのマーガリン・ショートニングの販売が減少しましたが、前年度に連結子会社化したチョコレート製造販売会社であるブラジルのハラルド社の売上高純増があり、増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は696億25百万円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益（営業利益）は43億66百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

## (大豆たん白部門)

大豆たん白素材は、健康食品市場向けの販売は堅調に推移しましたが、食肉・惣菜・加工食品市場向けの販売が減少しました。大豆たん白食品は、即席あげの販売が増加しました。大豆たん白機能剤は、飲料用途向けの販売が伸長しました。豆乳は、連結子会社トーラク(株)における小売向け豆乳販売事業の営業譲渡により、売上が減少しました。これらの要因により当部門全体は減収となりましたが、利益面では、事業再構築やコスト削減による採算改善により増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は191億28百万円（前年同期比6.2%減）、セグメント利益（営業利益）は13億44百万円（前年同期比118.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ94億9百万円減少し、2,574億68百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の減少39億8百万円、受取手形及び売掛金の減少15億49百万円、原材料及び貯蔵品の減少41億29百万円、のれんの減少16億57百万円、投資有価証券の増加10億96百万円等であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ71億77百万円増加し、671億77百万円となりました。

主な純資産の変動は、利益剰余金の増加54億14百万円、資本剰余金の減少26億24百万円、為替換算調整勘定の減少68億69百万円、非支配株主持分の減少23億45百万円であります。

この結果、自己資本比率は54.0%、1株当たり純資産は1,618円74銭となりました。

## (連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ39億15百万円減少、前第2四半期連結累計期間末に比べ33億62百万円減少し、127億83百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で17億67百万円増加し、67億2百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益87億93百万円、減価償却費50億86百万円等による収入が、仕入債務の減少額36億円、法人税等の支払額33億22百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で193億21百万円支出が減少し、83億3百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出77億96百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で259億96百万円減少し、1億42百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金による資金調達額の純増加額83億75百万円、長期借入による収入12億46百万円等の収入が、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出54億52百万円、長期借入金の返済による支出26億50百万円、配当金の支払額15億47百万円による支出等を下回ったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月11日発表の業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	310,000	17,500	16,000	10,000	116.33
今回発表予想 (B)	292,000	19,600	18,200	12,000	139.60
増減額 (B-A)	△18,000	2,100	2,200	2,000	—
増減率 (%)	△5.8	12.0	13.8	20.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	287,537	16,840	14,121	9,227	107.35

売上高については、為替の影響により海外グループ会社の円換算額が減少する見込みであること、利益面では第2四半期連結累計期間の実績および足元の業績動向を踏まえて、平成29年3月期通期連結業績予想を修正しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、FUJI ÓLEOS AMÉRICA DO SUL IMPORTAÇÃO, SERVIÇOS E COMÉRCIO DE PRODUTOS ALIMENTÍCIOS E PARTICIPAÇÕES LTDA. は、当社の連結子会社である HARALD INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE ALIMENTOS S. A. に吸収合併されたため、また、NEW LEYTE EDIBLE OIL MANUFACTURING CORPORATIONは、清算手続きの進展により資産負債の整理が終わり重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以降に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は3百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

### (4) 追加情報

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,771	12,863
受取手形及び売掛金	56,149	54,600
商品及び製品	22,766	22,816
原材料及び貯蔵品	27,196	23,067
繰延税金資産	2,334	2,068
その他	5,818	5,391
貸倒引当金	△166	△194
流動資産合計	130,869	120,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,366	33,850
機械装置及び運搬具(純額)	35,106	33,753
土地	16,129	16,076
建設仮勘定	5,031	2,839
その他(純額)	1,857	2,259
有形固定資産合計	89,491	88,778
無形固定資産		
のれん	13,133	11,476
その他	9,395	9,470
無形固定資産合計	22,528	20,947
投資その他の資産		
投資有価証券	16,324	17,420
退職給付に係る資産	656	919
繰延税金資産	373	680
その他	7,479	8,303
貸倒引当金	△847	△195
投資その他の資産合計	23,987	27,128
固定資産合計	136,007	136,854
資産合計	266,877	257,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,017	20,082
短期借入金	21,361	29,108
未払法人税等	3,795	2,644
賞与引当金	2,194	2,360
役員賞与引当金	50	-
その他	14,063	11,242
流動負債合計	66,482	65,439
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	28,639	28,068
繰延税金負債	7,089	4,545
役員退職慰労引当金	35	-
退職給付に係る負債	1,820	1,725
その他	4,022	4,425
固定負債合計	51,607	48,764
負債合計	118,089	114,204
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,302	15,678
利益剰余金	109,761	115,175
自己株式	△1,748	△1,748
株主資本合計	139,524	142,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,390	6,142
繰延ヘッジ損益	△980	△934
為替換算調整勘定	△422	△7,291
退職給付に係る調整累計額	△1,189	△1,085
その他の包括利益累計額合計	2,798	△3,169
非支配株主持分	6,464	4,119
純資産合計	148,787	143,264
負債純資産合計	266,877	257,468

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	134,098	141,361
売上原価	109,064	112,005
売上総利益	25,033	29,355
販売費及び一般管理費	18,596	20,158
営業利益	6,436	9,196
営業外収益		
受取利息	66	298
受取配当金	109	102
デリバティブ評価益	168	248
持分法による投資利益	-	106
その他	207	184
営業外収益合計	551	940
営業外費用		
支払利息	169	329
為替差損	314	226
持分法による投資損失	343	-
その他	234	517
営業外費用合計	1,061	1,073
経常利益	5,926	9,063
特別利益		
事業譲渡益	170	-
特別利益合計	170	-
特別損失		
固定資産処分損	191	117
減損損失	-	41
関係会社清算損失	-	110
特別損失合計	191	270
税金等調整前四半期純利益	5,905	8,793
法人税、住民税及び事業税	1,893	2,189
法人税等調整額	126	128
法人税等合計	2,019	2,318
四半期純利益	3,885	6,474
非支配株主に帰属する四半期純利益	262	321
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,622	6,153

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	3,885	6,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△757	751
繰延ヘッジ損益	△683	45
為替換算調整勘定	△97	△7,521
退職給付に係る調整額	127	104
持分法適用会社に対する持分相当額	15	△19
その他の包括利益合計	△1,395	△6,639
四半期包括利益	2,489	△165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,221	248
非支配株主に係る四半期包括利益	268	△413

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,905	8,793
減価償却費	4,527	5,086
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△390	△262
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	353	139
受取利息及び受取配当金	△176	△401
支払利息	169	329
事業譲渡損益(△は益)	△170	-
売上債権の増減額(△は増加)	1,134	△897
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,609	1,251
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,124	△3,600
減損損失	-	41
関係会社清算損益(△は益)	-	110
その他	△492	△629
小計	6,127	9,961
利息及び配当金の受取額	158	400
利息の支払額	△179	△337
法人税等の支払額	△1,170	△3,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,935	6,702
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,943	△7,796
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△17,355	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	396
事業譲渡による収入	170	-
預け金の預入による支出	△4,973	-
その他	△521	△902
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,624	△8,303
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	12,939	8,375
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	△2,000	-
長期借入れによる収入	22,814	1,246
長期借入金の返済による支出	△1,042	△2,650
社債の償還による支出	△5,000	-
配当金の支払額	△1,461	△1,547
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△108	△5,452
非支配株主への配当金の支払額	△177	△15
その他	△111	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,854	△142
現金及び現金同等物に係る換算差額	241	△1,658
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,406	△3,401
現金及び現金同等物の期首残高	12,716	16,698
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	23	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△513
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,145	12,783

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、連結子会社である不二製油(張家港)有限公司の出資持分を追加取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が2,080百万円減少しました。

## (セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	51,989	61,710	20,398	134,098	—	134,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,101	234	322	7,658	△7,658	—
計	59,091	61,944	20,721	141,756	△7,658	134,098
セグメント利益	2,268	3,552	615	6,436	—	6,436

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (参考資料)

## 所在地別セグメント

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	86,429	26,079	12,421	9,167	134,098	—	134,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	283	14,524	265	77	15,150	△15,150	—
計	86,713	40,603	12,687	9,244	149,248	△15,150	134,098
セグメント利益	4,342	2,134	△171	545	6,851	△415	6,436

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア:シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、  
インドネシア、タイ  
米州 : 米国、ブラジル  
欧州 : ベルギー

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	52,606	69,625	19,128	141,361	—	141,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,772	356	407	8,536	△8,536	—
計	60,379	69,982	19,536	149,897	△8,536	141,361
セグメント利益	3,485	4,366	1,344	9,196	—	9,196

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (参考資料)

## 所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	86,007	24,001	21,644	9,708	141,361	—	141,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	359	10,981	177	30	11,548	△11,548	—
計	86,366	34,982	21,821	9,739	152,909	△11,548	141,361
セグメント利益	5,548	2,452	710	508	9,219	△23	9,196

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、タイ  
米州：米国、ブラジル  
欧州：ベルギー

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

連結子会社間の吸収合併

1. 取引の概要

①結合当事企業及びその事業の内容

(1)結合企業の名称 HARALD INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE ALIMENTOS S. A.

事業の内容 チョコレート製品の製造販売

(2)被結合企業の名称 FUJI ÓLEOS AMÉRICA DO SUL IMPORTAÇÃO, SERVIÇOS E COMÉRCIO DE PRODUTOS ALIMENTÍCIOS E PARTICIPAÇÕES LTDA.

事業の内容 食用油脂の販売業務

②企業結合日

平成28年4月30日

③企業結合の法的形式

当社の連結子会社のHARALD INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE ALIMENTOS S. A. を存続会社、FUJI ÓLEOS AMÉRICA DO SUL IMPORTAÇÃO, SERVIÇOS E COMÉRCIO DE PRODUTOS ALIMENTÍCIOS E PARTICIPAÇÕES LTDA. を消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

変更ありません。

⑤その他取引の概要に関する事項

グループ組織再編を行う事により、グループ経営の効率化、合理化を図るものであります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

共通支配下の取引等

子会社株式の追加取得

1. 取引の概要

①結合当事企業の名称及びその事業の内容

(1)結合企業の名称 HARALD INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE ALIMENTOS S. A.

事業の内容 チョコレート製品の製造販売

②企業結合日

平成28年8月31日

③企業結合の法的形式

現物出資による株式取得(デット・エクイティ・スワップ)

④結合後企業の名称

変更ありません。

⑤その他取引の概要に関する事項

当社は、同社の財務体質の改善を目的とした同社の増資をデット・エクイティ・スワップによる方法で引き受けております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

## 3. 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現物出資の対象となる債権の額面総額	5,151百万円
	現物出資の対象となる債権に対する貸倒引当金	—
取得原価		5,151百万円

共通支配下の取引等

持分法適用非連結子会社株式の追加取得

## 1. 取引の概要

## ①結合当事企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 INTERNATIONAL OILS &amp; FATS LTD.

事業の内容 チョコレート用油脂原料の製造販売

## ②企業結合日

平成28年5月27日

## ③企業結合の法的形式

当社連結子会社による非支配株主からの株式取得

## ④結合後企業の名称

変更はありません。

## ⑤その他取引の概要に関する事項

当社の連結子会社が追加取得した株式の議決権比率は50%であり、当該取引により当社グループにおける議決権比率は100%となります。当該追加取得は、グループ経営体制の強化・意思決定の迅速化を図るために行ったものであります。

## 2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

## 3. 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	3,480千米ドル (382百万円)
	債権	1,692千米ドル (185百万円)
取得原価		5,173千米ドル (567百万円)

## 4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

## ①資本剰余金の主な変動要因

持分法適用非連結子会社株式の追加取得

## ②非支配株主との取引によって減少した資本剰余金の金額

567百万円

## 共通支配下の取引等

## 子会社出資持分の追加取得

## 1. 取引の概要

## ①結合当事企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 不二製油(張家港)有限公司

事業の内容 食用油脂、製菓製パン原材料の製造販売

## ②企業結合日

平成28年9月14日

## ③企業結合の法的形式

非支配株主からの出資持分の取得

## ④結合後企業の名称

変更はありません。

## ⑤その他取引の概要に関する事項

追加取得した出資持分は40%であり、当該取引により当社の出資持分は98.1%となります。当該追加取得はグループ経営体制の強化・意思決定の迅速化を図るために行ったものであります。

## 2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

## 3. 子会社出資持分の追加取得に関する事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	4,505百万円
取得原価		4,505百万円

## 4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

## ①資本剰余金の主な変動要因

子会社出資持分の追加取得

## ②非支配株主との取引によって減少した資本剰余金の金額

2,080百万円

## 取得による企業結合

## 1. 企業結合の概要

## ①被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 GCB SPECIALTY CHOCOLATES SDN. BHD.

事業の内容 業務用チョコレートの開発・製造・販売に関する事業

## ②企業結合を行った主な理由

当社グループにおいて、アジア市場は今後さらに持続的な成長が見込まれ、重点エリアとして取り組んでおります。また、事業戦略としてチョコレート用油脂事業とチョコレート用油脂を使用したコンパウンドチョコレート事業で世界トップ企業を目指しており、GCB SPECIALTY CHOCOLATES SDN. BHD. は当社グループの油脂拠点と立地が近いこと、今後のアジアでの業務用チョコレート事業の拡大にシナジー効果が期待できることから株式取得に至りました。

## ③企業結合日

平成28年8月1日（株式取得日）

平成28年9月30日（みなし取得日）

## ④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## ⑤結合後企業の名称

変更はありません。

## ⑥取得した議決権比率

70.0%

## ⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社連結子会社による現金を対価とする株式の取得であるため。

## 2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成28年9月30日をみなし取得日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから貸借対照表のみ連結しているため、当第2四半期連結損益計算書においては、被取得企業の業績を含んでおりません。

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	12,810千マレーシアリングット（329百万円）
取得原価		12,810千マレーシアリングット（329百万円）

## 4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## ①発生したのれん金額

190百万円

なお、当第2四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。

## ②発生原因

今後の事業展開によって期待される超過収益力により発生したものであります。

## ③償却方法及び償却期間

投資効果の発現する期間を見積り、合理的な期間で均等償却する予定であります。なお、投資効果の発現する期間については、現在算定中であります。

# 2017年3月期 第2四半期 決算補足資料

不二製油グループ本社株式会社

1

## 目次

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 連結 第2四半期業績      | 2. 連結 通期予想       |
| (1)連結 損益概要         | (1)連結 通期予想       |
| (2)連結 油脂部門損益       | (2)連結 セグメント別通期予想 |
| (3)連結 製菓・製パン素材部門損益 | (3)連結 地域別通期予想    |
| (4)連結 大豆たん白部門損益    |                  |
| (5)連結 地域別損益        |                  |
| (6)連結 Q1/Q2営業利益推移  |                  |
| (7)連結 貸借対照表        |                  |
| (8)連結 キャッシュ・フロー    |                  |
| (9)連結 指標           |                  |

※1：本資料に記載されている金額は億円未満を四捨五入で表示しています。  
※2：本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2

## 1-(1) 連結 損益概要

(単位: 億円)

		15年度 Q2累計	16年度 Q2累計	対前期	
				増減額	増減率
売上高	油脂	520	526	+6	+1.2%
	製菓・製パン素材	617	696	+79	+12.8%
	大豆たん白	204	191	▲13	▲6.2%
	合計	1,341	1,414	+73	+5.4%
営業利益	油脂	23	35	+12	+53.6%
	製菓・製パン素材	36	44	+8	+22.9%
	大豆たん白	6	13	+7	+118.4%
	合計	64	92	+28	+42.9%
	営業利益率	4.8%	6.5%	+1.7p	—
経常利益		59	91	+31	+52.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益		36	62	+25	+69.9%
四半期包括利益		25	▲2	▲27	—

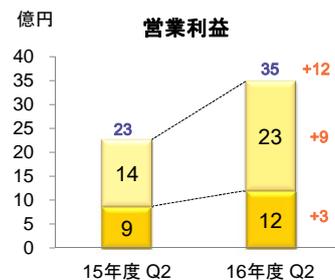
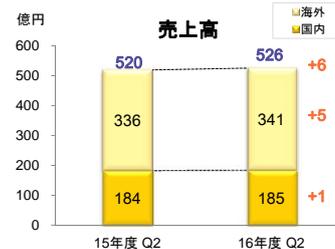
3

## 1-(2) 連結 油脂部門損益

	15年度 Q2累計	16年度 Q2累計	対前期	
			増減額	増減率
売上高	520	526	+6	+1.2%
営業利益	23	35	+12	+53.6%

### 業績サマリー

- **国内**  
パーム油・チョコレート用油脂の販売数量が増加したこと等により増収・増益。
- **海外**  
主に米州でのパーム油の販売が伸長したことにより増収・増益。



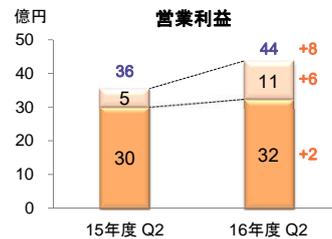
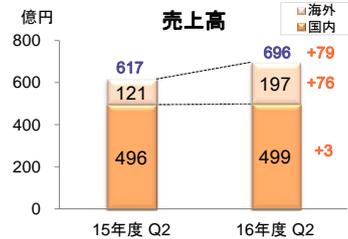
4

## 1-(3) 連結 製菓・製パン素材部門損益

	15年度 Q2累計	16年度 Q2累計	対前期	
			増減額	増減率
売上高	617	696	+79	+12.8%
営業利益	36	44	+8	+22.9%

### 業績サマリー

- **国内**  
業務用チョコレート・冷菓用チョコレートの販売が伸長したことにより増収・増益。
- **海外**  
東南アジアでのマーガリン・ショートニングの販売が減少するも、前年度に連結子会社化したチョコレート製造販売会社のブラジルのハラルド社の売上高純増があり増収・増益。



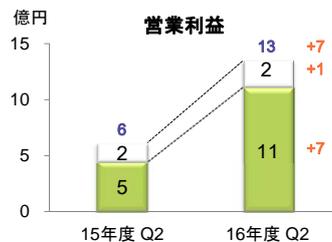
5

## 1-(4) 連結 大豆たん白部門損益

	15年度 Q2累計	16年度 Q2累計	対前期	
			増減額	増減率
売上高	204	191	▲13	▲6.2%
営業利益	6	13	+7	+118.4%

### 業績サマリー

- **大豆たん白素材**  
健康食品市場向けは堅調に推移するも、食肉・惣菜・加工食品市場向けの販売は減少。
- **大豆たん白機能剤**  
飲料用途の販売が伸長。
- **豆乳**  
連結子会社トーラク(株)における小売向け豆乳販売事業の営業譲渡により売上が減少。
- **部門全体**  
事業再構築やコスト削減による採算改善等より増益。



6

## 1-(5) 連結 地域別損益

(単位:億円)

		15年度 Q2累計	16年度 Q2累計	対前期	
				増減額	増減率
売上高	日本	864	860	▲4	▲0.5%
	アジア	261	240	▲21	▲8.0%
	欧米	216	314	+98	+45.2%
	合計	1,341	1,414	+73	+5.4%
営業利益	日本	43	55	+12	+27.8%
	アジア	21	25	+3	+14.9%
	欧米	4	12	+8	+225.3%
	消去	▲4	▲0	+4	—
	合計	64	92	+28	+42.9%

〔業績サマリー〕

日 本: 小売向け豆乳販売の減少等による減収、原材料コストの低減等により増益。

アジア: マーガリン・ショートニング類の販売減少等により減収。

欧 米: ハラルド社の売上高純増、米州でのパーム油の販売伸長等により増収・増益。

7

## 1-(6) 連結Q1/Q2営業利益推移

(単位:億円)

	Q1 (3カ月)	対前年 同期	Q2 (3カ月)	対前年 同期	Q2 累計	対前年 同期
油脂	16	+7	19	+5	35	+12
製菓・製パン素材	25	+12	18	▲3	44	+8
大豆たん白	7	+5	6	+2	13	+7
合計	49	+23	43	+4	92	+28

	Q1 (3カ月)	対前年 同期	Q2 (3カ月)	対前年 同期	Q2 累計	対前年 同期
日本	28	+10	27	+2	55	+12
アジア	12	+2	12	+2	25	+3
欧米	9	+9	4	▲0	12	+8
消去	▲0	+3	+0	+1	▲0	+4
合計	49	+23	43	+4	92	+28

8

## 1-(7) 連結 貸借対照表

(単位: 億円)

	15年度 期末	16年度 Q2末	対前期末	主な増減要因
流動資産	1,309	1,206	▲103	現預金の減少、売上債権の減少、棚卸資産等の減少等
固定資産	1,360	1,369	+8	投資有価証券の増加、のれんの減少等
資産合計	2,669	2,575	▲94	
有利子負債	600	672	+72	
その他負債	581	470	▲111	仕入債務の減少、長期繰延税金資産の減少等
負債合計	1,181	1,142	▲39	
純資産合計	1,488	1,433	▲55	利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の減少、資本剰余金の減少等

9

## 1-(8) 連結 キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	15年度Q2累計	16年度Q2累計	対前期
税引前四半期純利益	59	88	+29
減価償却費	45	51	+6
他増減	▲55	▲72	▲17
営業キャッシュ・フロー	49	67	+18
投資キャッシュ・フロー	▲276	▲83	+193
フリー・キャッシュ・フロー	▲227	▲16	+211
借入金等による調達・返済	277	70	▲207
配当支払・自己株取得等	▲19	▲71	▲53
財務キャッシュ・フロー	259	▲1	▲260
現金及び現金同等物増減	換算差額含む +34	換算差額含む ▲34	▲68
新規連結及び連結除外に伴う増減	0	▲5	▲5
現金及び現金同等物期末残高	161	128	▲34

(注)・減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

・現金及び現金同等物増減には、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めています。

10

## 1-(9) 連結指標

(単位:億円)

	13通期	14Q2累計	14通期	15Q2累計	15通期	16Q2累計
設備投資額	61	42	112	62	153	69
減価償却費	83	39	82	43	92	47
有利子負債	289	290	296	622	600	672
純資産(少持除く)	1,281	1,333	1,456	1,463	1,423	1,391
1株当たり純資産	1,490円	1,551円	1,694円	1,702円	1,656円	1,619円
総資産	2,022	2,061	2,236	2,656	2,669	2,575
自己資本比率	63.3%	64.7%	65.1%	55.1%	53.3%	54.0%
D/Eレシオ	0.23	0.22	0.20	0.43	0.42	0.48
ROE	6.7%	7.2%	6.8%	5.0%	6.4%	8.7%
ROA	7.4%	6.3%	6.3%	4.8%	5.8%	6.9%

(注)・減価償却費は、有形固定資産の減価償却費を表示しています。  
 ・純資産は少数株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。  
 ・D/Eレシオ＝有利子負債÷純資産(少数株主持分除く)  
 ・ROE＝当期純利益÷純資産(Q2指標は、年換算しています。)  
 ・ROA＝経常利益÷総資産(Q2指標は、年換算しています。)

11

## 2-(1) 連結通期予想

(単位:億円)

	15Q2 累計	15通期	16Q2 累計	対前年 同期	16通期 予想	対前年 同期
売上高	1,341	2,875	1,414	+73	2,920	+45
営業利益	64	168	92	+28	196	+28
経常利益	59	141	90	+31	182	+41
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	36	92	61	+25	120	+28

(注) 2016年5月11日公表の前回業績予想は最近の業績動向を踏まえ、2016年11月8日公表の「平成28年3月期第2四半期決算短信」にて修正を行っております。

12

## 2-(2) 連結 セグメント別通期予想

(単位: 億円)

		15Q2 累計	15通期	16Q2 累計	対前年 同期	16通期 予想	対前年 同期
売上高	油脂	520	1,088	526	+6	1,059	▲30
	製菓・製パン素材	617	1,382	696	+79	1,486	+104
	大豆たん白	204	405	191	▲13	375	▲30
	合計	1,341	2,875	1,414	+73	2,920	+45
営業利益	油脂	23	64	35	+12	65	+1
	製菓・製パン素材	36	92	44	+8	111	+19
	大豆たん白	6	13	13	+7	20	+7
	合計	64	168	92	+28	196	+28

(注) 2016年5月11日公表の前回業績予想は最近の業績動向を踏まえ、2016年11月8日公表の「平成28年3月期第2四半期決算短信」にて修正を行っております。

13

## 2-(3) 連結 地域別通期予想

(単位: 億円)

		15Q2 累計	15通期	16Q2 累計	対前年 同期	16通期 予想	対前年 同期
売上高	日本	864	1,800	860	▲4	1,809	+9
	アジア	261	530	240	▲21	484	▲46
	欧米	216	546	314	+98	627	+82
	合計	1,341	2,875	1,414	+73	2,920	+45
営業利益	日本	43	120	55	+12	121	+1
	アジア	21	42	25	+3	45	+3
	欧米	4	9	12	+8	30	+21
	消去	▲4	▲3	▲0	+4	0	+3
	合計	64	168	92	+28	196	+28

(注) 2016年5月11日公表の前回業績予想は最近の業績動向を踏まえ、2016年11月8日公表の「平成28年3月期第2四半期決算短信」にて修正を行っております。

14